

Universität Oldenburg

●VISUM

・日本ですること

経費負担契約書(Finanzierungserklärung)をもらうために、日本のドイツ領事館に行きます。

これは、ドイツでの滞在費を自弁できる経済的能力の証明書です。私は親に負担してもらったので、親の口座に滞在費があるかどうかの証明を、銀行に行って€に直した証明書を貰いました。口座に入っていないなければならないお金の目安として、”1ヶ月にかかる最低費用を700€とし、自分が留学する期間×700€があるかどうか”です。ドイツ大使館のHPを見ると、私が住んでいる地域は大阪のドイツ領事館での手続きが必要だったので、銀行で貰った証明書と、親の身分証明書(パスポートや免許書)を持って、親と一緒に申請に行きました。予約は要らなかったと思います。手続きもそんなに時間はかかりませんでした。

・ドイツで

ドイツに着いた次の日に、大学の国際交流部(ISO)へ行き、Ausländerbüroのアポを取ってもらいました。大学を通してアポを取るみたいです。

必要なものとして、日本で貰った経費負担契約書、パスポート、パスポートのコピー、写真、保険証券(ドイツ語版)、入学許可書、ゼメチケに付いていた書類、100€です。だいたい5月に入ってから申請しに行きます。

オルデンプルク大学は、ドイツで保険に入る必要はなく、日本の保険で大丈夫です。しかし、Ausländerbüroでは、もっと詳しい保険証券が欲しいと言われ、保険会社にメールをし、付証明書の作成を頼みました。100€は現金で手渡しではなく、カードを渡されるので、1階のATMにそのカードを入れて、お金を振り込みます。

2~3週間後、ベルリンからPINが書かれた手紙が届きます。届いたら、Ausländerbüroに電話して、アポを取ります。その時、電話が繋がらなかったら、Oldenburgの局番的なもの(0441)を前につけて電話してみてください。その決められた日時に手紙、パスポート、VISAを申請したときに貰った書類を持って行くと、ビザを貰えます。帰国する時には、Ausländerbüroに行き、帰国することを伝えてください。パスポートとビザと住民票が必要だったかな。アポは要りません。1階で出来ます。ちなみに、ビザの申請は2階です。ビザカードは返さなくてもいいです。出国の時に空港で見せる必要がありました。

●ドイツまでの航空券

私は、ドイツまでの往復航空券、ハンブルクからオルデンプルクまでの電車の切符、

ハンブルクで一泊をしたのでそのホテル、すべて旅行会社で頼みました。ドイツの電車はよく遅れるので、乗り換え時間は、最低20分はあったほうがいいと思います。

関空からフランクフルト、フランクフルトからハンブルクまでは飛行機で行きました。ハンブルクに着いたときは暗かったので一泊し、次の日電車でオルデンへ。

●寮

私は、交換留学生や erasmus ではなかったもので、学生寮は使えませんでした。でも、事前にそのことを書いたメールが大学から届き、他の寮を斡旋してくれました。大学から徒歩10分ぐらいの寮(Hermann-Ehlers-Haus)の大家さんにメールをし、半年契約することができました。なので、ドイツに着いても家がないということはありませんでした。オルデンブルク大学には、チューターさんがいて、いろいろなことをお世話してくれます。その人が、寮の鍵を持って駅まで迎えに来てくれたので、そのままバスに乗って寮に入りました。

家賃は1か月210€、部屋にはベッド、机、棚、クローゼット、洗面台、椅子が備え付きます。洗濯は1回3€で、午前中は地下に大家さんがいるのでそこで洗濯代を払い、コインを貰います。インターネットは有線で、そのコードを5€ぐらいでHausmannから買いました。インターネット代は、家賃に含まれているけど、使いすぎたら重くなるし、無線ランも繋げることが出来ませんでした。しかし、大学では学籍番号とパスワードを入れるとインターネットが使えます。

●住民票

チューターさんと Ausländerbüro へ行って、簡単に作れました。パスポートが必要でした。アポも要りません。

●携帯電話

オルデンブルクでは、住民票がないと携帯は買えません。電気屋か街の携帯ショップで買えます。電話とメールだけの携帯なら、すごく安く買えます。そういう携帯なら、お金がなくなればSIMカードを買うか、電気屋などのレジでチャージしてもらいます。チャージをしてもらうほうが、電話番号は変わりません。

●Semesterticket

オリエンテーションの時に、ゼメチケを貰えます。それを使えば、Hamburg や Hannover まで行くことが出来ます。Hamburg や Hannover 内の電車やバスはお金が必要です。もちろん、オルデン内のバスも乗り放題です。

●図書カード

図書館の1階の窓口で発行できます。パスポートと住民票が必要だったと思います。5€必要だったかな。チャージしてお金を入れます。コピーするときに、自分のカードに書かれている番号を入力し、コピー機に挿すと印刷できます。コインロッカーを使うときにもカードが必要です。

●Intensiv Kurs

ドイツでは秋から大学が始まるので、冬休みは人が集まらなかったのか Intensiv Kurs は行われませんでした。でも、夏休みは行われました。ドイツコースの先生に受けたいと言ったら、Intensiv Kurs 担当の先生のアドを教えてください、メールしました。授業初日に 100€を持って、登録しました。教科書代も含まれています。最後にテストがありました。授業は月～金曜日で、朝から昼過ぎです。宿題もたくさんありました。

●Oldenburg

一番助かったのは IKEA。食器やタオル、ハンガーなど必要な物が安く買えました。バスで行けるので便利でした。街にはレストラン、ファーストフード店、電気屋、服屋、アジアンショップなど様々なお店があるし、お洒落で美味しいカフェも多いです。デパートもあります。クリスマスにはクリスマスマーケットもあるし、Oldenburg のお祭りもあって、アトラクションや屋台がたくさん出ます。街は小さいけど、お店は十分揃っていると思います。もっと買い物したいなら、ブレーメンやハンブルク、ハノーファーにもゼメチケで行けます。

日本から、レンジでチンすればご飯が炊けるパックは重宝しました。ミルヒライス使えば、ドイツでもお米を食べることが出来ます。デウッセルドルフにはラーメンやお寿司屋さん、大きいアジアンショップがあります。